

自己評価結果表【タイプA】（児童養護施設）

共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		自己評価結果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	0.86
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	1.00
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	0.88
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	0.78
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	0.80
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。	0.59
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	0.73
【判断した理由・特記事項等】		
1, 子ども・保護者への説明機会の確保（入所時の保護者立ち合いがなかったり、28条などによりきちんとした説明がされていない場合もある） 11, 理念・基本理念が広報にわかりやすく記載されているため 12, 子どもや保護者、新任職員への周知はされているが十分ではないと思う 17, 掲示、広報紙などに載せてあるから 24, 理解している 39, できていると思う 40, 職員に対して分かりやすく周知されている 41, ホームページに記載してある 42, 会議などでの周知はケア目標などに比べ触れられる機会が少ないと感じる 43, 理念などは周知されているため 44, 理念基本方針児童憲章のつながりで示されているが具体的な取り組みや周知は少ない 45, パンフレット等には記載されているが周知はされていないと思う 46, 理念や基本方針が定期的に周知されている 47, 年度当初会議において周知するとともに掲示など行い深めている		

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	1.00
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	0.63
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	0.45
	<input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設（法人）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	0.49
	<input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	0.51
【判断した理由・特記事項等】		
4, 把握・分析されているのであろうが、内容が不明 24, 定期的にできていない部分もある 39, できていると思う 40, 自身が経営にかかわる職種ではなく状況がわからないため 43, 分析されていると思われる 44, 段階的なホーム形態の変化の計画が示されている 45, 把握されているようだが分析までは至っていないように思える 46, 社会福祉事業全体の動向について把握している 47, 地域のニーズなどのデータを集めるところまでは至っていない		

②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	0.35
	<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	0.35
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	0.49
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	0.37
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	0.27
【判断した理由・特記事項等】		
4, 課題が明確にされず職員への周知もされていない 11, 経営状況についてはよく知らない 12, 理事会もあっている 24, 経営状況など把握できていない 39, できていると思う 40, 自身が経営にかかわる職種ではなく状況がわからないため 42, ホーム体制の改変等については周知されていると感じる 43, されているのだけれど詳しく聞いていない 44, 人材育成と経営方針に差があり、職員の育成が間に合っていないように思える 45, 課題には取り組まれていると思うが具体的な取り組みはされているように思えない 47, 職員すべてに周知しているわけではない。理事等へは理事会で共有している		

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	自己 評価結果	
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	0.53
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	0.61
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	0.41
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	0.43
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	0.59
【判断した理由・特記事項等】		
1, 中長期ビジョンに対して人材確保や工場に課題が見られる 8, ビジョンについては説明されている 11, 具体的にいつからどの体制で進めるか等職員会議で周知されているため 12, 長期計画も必要に応じて見直しされている 24, 計画が策定されていると思うから 39, できていると思う 40, 職員に対して周知されている 43, 計画は明確にされており、適宜見直しはされている 44, 令和7年度に向けたホーム編成に対する計画は示されている 45, 計画されているように見えるが実施とはまた違うように見える 47, 大きなビジョンは設定しているが成果等の評価が一部でしか行えていない		

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	0.43
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	0.47
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	0.47
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	0.45
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	0.35

【判断した理由・特記事項等】

- 4, 単年度の計画は毎年あまり変化が見られない
 12, 職員会議などで伝えられている
 24, 把握できていない
 39, できていると思う
 40, 計画を立てて実行できてい。収支については知らされていない
 43, 収支予算は把握していないためわからない
 44, 計画を評価し見直す場と時間が少ないように感じる
 45, 計画と反映は別のようを感じる
 47, 数値目標等の設定は今一つ行っていない面がある

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	0.37
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	0.29
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	0.41
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	0.39
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	0.41
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	0.47

【判断した理由・特記事項等】

- 11, 職員会議や朝礼などで職員に周知されているから
 12, 職員に周知されていると思う
 24, 計画されていると思うが把握できていない部分もある
 39, できていると思う
 40, 職員に周知されている
 43, あまり周知されているように感じない
 44, 評価見直しのため協議の場が少なく感じる
 45, 計画については伝えてもらっていると思うが羽根井はされていないと思う
 47, 各部署により年度計画を立て行っている。評価は少しできていない面がある

②	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	0.24
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	0.27
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。	0.22
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	0.33
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	0.27

【判断した理由・特記事項等】

- 1, 周知という点では取り組みは不十分
- 4, 子どもや保護者の参加はなく周知もしていない
- 10, 毎月の献立、園内行事、学校行事を各家庭に送付されている。
- 11, 保護者への取り組みについてはよく知らない
- 24, 理解できている
- 32, どのようにおこなわれているのかわからない
- 39, できていると思う
- 40, 事業計画が子どもや保護者に周知されているのかわからないから
- 42, どこまで子どもに周知されているのか把握できていない部分がある
- 43, 事業計画が子ども達に周知されていないため
- 44, 事業計画を保護者や子どもと共有する場については、私は把握できていない
- 45, 理解には至っていないように思う
- 47, 基本的に親へ伝えられていない部分もあり全体として行っていない

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	自己評価結果	
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	0.51
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	0.33
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C: Check)を行う体制が整備されている。	0.45
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	0.78
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	0.59

【判断した理由・特記事項等】

- 1, 組織について体制はあるものの、機能しているかは別問題であり、課題である
- 10, 個人の行事への参加、(プール)家庭教師による指導
- 12, 研修なども多く行われている
- 24, できている
- 39, できていると思う
- 40, 行われていると思うが具体的な内容がわからないため
- 43, 支援の質の向上は取り組まれていると感じる
- 44, 支援の質に対する施設としての一貫性に対する取り組みは少ないと感じる
- 45, 取り組みされていると思う
- 46, 評価を行う体制が整備されている
- 47, 運営会議をメンバー選定し行っている。努力は続けている

②	9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	0.39
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	0.43
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	0.43
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	0.41
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	0.33
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	0.41

【判断した理由・特記事項等】

- 12, 会議で伝えられている
 24, 主にできている
 39, できていると思う
 40, 自己評価に基づいたものがわからないため
 43, 評価結果から改善されているか知らない
 44, 評価が行われ共有するが、取り組みは不十分なものが多く感じる
 45, 分析結果が明確だとは思えない
 47, 上記同様毎月の運営会議にて行っている

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	自己 評価結果	
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	0.92
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	0.88
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	0.86
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	0.86
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	0.90

【判断した理由・特記事項等】

- 5, 常に先頭に立ちリーダーシップを発揮してくださっている
 11, 非常時の対応が素早い
 12, 常に連絡を取れるようにしてあり、安心できる
 24, されている
 29, 施設長は休みの日も常時対応してくださり、責任ある行動をされている
 39, 図っていると思う
 40, 施設長の責任が明確にされているため
 43, 諸々されていると思う
 44, 権限の委任はできかねている現状があると感じる
 45, よく口に出されていると思う
 46, 施設長の役割と責任を書類も含め周知されている
 47, 職務分掌を作成し周知を行っている。努力していると考えている

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	0.86
	□施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。	0.84
	□施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	0.96
	□施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	0.84
	□施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	0.84

【判断した理由・特記事項等】

12, 研修なども多く行われている
 24, されている
 39, できていると思う
 40, 遵守すべき法令を正しく理解するための取り組みを行っていると思うから
 43, 環境への配慮の法令などを把握しているかわからない
 44, 法改正などについて共有も行っていただいている
 45, 配慮されているように思う
 47, すべてにおいて周知できていない面もある

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	0.71
	□施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	0.78
	□施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	0.63
	□施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	0.76
	□施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	0.67
	□施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	0.76
	(社会的養護共通) □施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	0.88

【判断した理由・特記事項等】

4, 養育・支援の点から考えると方針に関してブレが見られたり、何か加害があった際に施設長が子どもに話して終わりとなる場合もある。
 7, 積極的に研修に参加している
 11, 職員の輪の中に入り雑談の中で情報共有をされている
 12, 質の向上に意欲をもって取り組まれているし、それについていこうと思う
 24, できている
 39, 職員にも子ども達にもいつも耳を傾けより良い方向へ導いてくださっていると思う
 40, 養育、支援に対して意欲的で指導力が発揮されていると思う
 42, 職員からの意見収集の場を定期的に持っていただいている
 43, 質の向上に対して意欲的に取り組まれていると思う
 44, 支援の質の向上について全体的な取り組みは不十分に感じる。支援の一貫性や再現性が低い
 45, 取り組みはされているように思う
 46, 職員の意見を反映するため職員同士で話し合う場を設けている
 47, そのように意欲を持って取り組んでいるつもりではあるが専門性の向上までまだまだであると思う

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	0.61
	□施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	0.63
	□施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	0.61
	□施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	0.57
	□施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	0.57
【判断した理由・特記事項等】		
12, 地域の活動にも参加されている 24, されている 40, 経営に携わっていないため具体的なことは何もわからないから 43, 取り組まれていると思う 44, 職員の気持ちや思いも汲み取っていただいている 45, 今期は発揮されているとは思いつらい 46, 職員の働きやすい環境を意識し取り組まれている 47, そのつもりで取り組んでいる		

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	自己評価結果	
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	0.35
	□必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	0.37
	□養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	0.45
	□計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	0.37
	□施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	0.47
	(社会的養護共通) □各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	0.57
【判断した理由・特記事項等】		
4, 採用は一定数あるが、計画的かといわれると疑問が残る。知り合いの知り合いなど数珠つなぎのような人事採用が多い 8, 人材確保は中々難しいと思う。求人を募っても希望者がいない場合もある 11, 専門職を増員し配置しているため 12, 足りない部分や厳しい部分はあると思う 24, 現場は疲弊している。差がある。 39, 専門職は増えているからより良いケアへつながるはずだが専門職とハウス職員の連携がうまくいかなかったり専門職の顔色を見なければならぬのはどうしてだろうと思う 40, 育成人事に携わっていないためどういった内容で行われているのかわからない 43, 人材の確保など実施されていると思う 44, 人材育成に関する基盤となるものがなく教育系の経験に頼ることが多い 45, 計画は十分にされているとは思いますが実施されているとは思えない 46, 各種加算職員の配置に積極的に取り組んでいる 47, 福祉人材の確保や育成に対して具体性など不足している面があると考えている		

②	15 総合的な人事管理が行われている。	0.29
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができている。	0.27
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	0.24
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	0.33
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	0.27
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	0.41

【判断した理由・特記事項等】

- 4, 職員の専門性の低さ、連携不足が目立つ
5, 将来像が描けるような評価の基準は明確に示されていない
24, 納得いかない部分もある
39, ハウスからのカバー要請、カバーが必要でお願いしている。もう少し協力的に考えてもらえると助かる。
40, 人事に携わっていないためどのような内容で行われているかわからない
43, 人事管理等行われていると思う
44, 成果や努力が評価されにくく、反対に不適切な行いも注意されにくい。職員増の基盤がないためどちらの評価もされにくい
45, 採用異動については配慮されていないように思える
47, 明確に定めていない面がある。評価分析に対して

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	0.51
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	0.59
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	0.61
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	0.41
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	0.55
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	0.59
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	0.51
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	0.35
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	0.45

【判断した理由・特記事項等】

- 11, 希望休を確実に取らせてもらっている
12, 職員の相談窓口のようなものはないと感じる
21, 就業時間の調整を快くしていただき働きやすい環境
24, オーバーワークしているが実際記載できない。雰囲気ややり方がわからない。配偶者がいないと勤務が偏る
39, 専門職の部屋に入るとき中にいるのかドアを開けないとわからない。ドアに中に見える小窓があれば部屋の外から確認できると思う。
40, 勤務状況に応じてワークライフバランスに配慮できないこともある
43, 取り組まれている
44, 方針は出しているが時間外は個人判断、年休はグループリーダーに責任がありフォローの体制は少なく感じる。産休育休についても取りやすいがフォローは不足している
45, 努力されている面とそうでないところがあるように見えるため
46, 定期的に職員との個別面談の機会を設けている
47, 働きやすい職場づくりはいつも考えている。責任体制は少し不足の面もある

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	0.45
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	0.33
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	0.51
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	0.45
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	0.47

【判断した理由・特記事項等】

- 4, 一人一人の目標は特に様式はない。中間面接なども結局実施されないことが多い
- 5, 現状自らの目標を見いだせない
- 7, しっかりと話を聞いてくださる
- 11, 面談が年に一回なので状態確認まではできていない
- 12, 年に一度は面談がある
- 24, コミュニケーションがあるようでない
- 39, 以前は年に2回の面談だったが、1回だったりみんなできなかつたり。面談(CW)は事務長にしてほしい。
- 40, 行われていると思うが面接(定期)は未実施のため
- 43, 取り組まれている
- 44, 面接は行えているが目標設定や家庭を取り扱うことは少ない。また、共通の意識がないため目標設定も行いづらく不満や気持ちを伝える場となりやすい
- 45, 職員像は見えない
- 46, 設定した目標の確認を含めた面接が行われている
- 47, 職員のコミュニケーションは常に気がけているが目標達成等の分析は不足の面がある

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	0.43
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	0.37
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	0.47
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	0.57
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	0.39
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	0.39

【判断した理由・特記事項等】

- 4, 教育・研修計画はない。経験年数等で研修への参加を促している。
- 12, 研修等多く行われている
- 18, 主にできている
- 40, どういう風に計画されているかわからないから
- 43, 研修がよく実施されている
- 44, 役職研修以外は希望者のみとすることが多く、具体的な育成計画も把握していない。職員像は抽象的で具体的ではない。
- 45, 研修等実施していただいている
- 47, 機会については積極的に参加できるようにしている。勧奨も行っている

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	0.61
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	0.53
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	0.51
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	0.69
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	0.82
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	0.80
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	0.55

【判断した理由・特記事項等】

5, 実践に即したスーパービジョンの機会を設定してほしい
7, 一人ひとりがしっかりと学べる機会が設けられている
11, 専門的な研修を定期的に受けられる
12, 新人の集いなど行われている
24, できている
31, 外部講師を呼んでの園内研修や職員の希望に応じた研修に行かせてもらったりと研修の内容は充実して受けさせてもらっている
39, OJTは新人職員のハウスの経験職員ではない職員が望ましいのでは。新人職員は言いにくかったりあるのではと思う。
40, 研修やセミナー等の機会を多く与えられている
42, 研修参加の機会は多く確保していただいている
43, 一人一人に合わせた研修がよく提供されている
44, 研修については希望者とする事が多くそのことが機会の確保とはいいいがたく感じる。また、SV体制については不十分に感じる
45, 機会は多くいただいている
46, 外部研修へ職員が参加しやすいように周知促しを行っている
47, 機会については積極的に参加できるようにしている。勧奨も行っている

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	0.76
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	0.65
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	0.67
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	0.80
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	0.49
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	0.73

【判断した理由・特記事項等】

2, 実務に関するマニュアルを見たことがないしマニュアルを作ることを提案しても受け入れてもらえなかった。実習生だけマニュアルがあるとは考えにくい。
5, 実習受け入れの態勢はしっかり整えられている。
12, 実習生を受け入れた際専門職の講義などあっている
39, できていると思う
40, 研修や育成がどのように行われているかわからないから
43, 取り組まれている
44, 実習については担当者の努力によって成立していると感じる
45, 計画実施されていると思う
46, 学校側との連携のもと実施している
47, 担当やマニュアルを設定し行っている。指導者研修は行っていない

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	自己 評価結果
<p>① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/>ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。</p> <p><input type="checkbox"/>第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。</p> <p><input type="checkbox"/>法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。</p>	<p>0.57</p> <p>0.55</p> <p>0.63</p> <p>0.55</p> <p>0.59</p> <p>0.59</p>
【判断した理由・特記事項等】	
<p>11, インスタ等で定期的に情報を発信できているため</p> <p>12, 年に数回広報を出されている</p> <p>24, 主にできている</p> <p>31, インスタグラムやブログ広報紙などを通じて園への行事の取り組みや子ども達の様子など地域に丁寧な発信ができていると思う。</p> <p>39, ホームページ、インスタグラム等よい取り組みだと思う</p> <p>40, 運営の透明性は確保できているが予算決算情報までは公開されていないから</p> <p>43, 公開されている</p> <p>44, Hpやインスタ等活用されている</p> <p>45, されていると思うが適切かは見えていない</p> <p>46, 広報紙を作成配布している</p> <p>47, 予算決算などの情報は出していないが他は行っている</p>	
<p>② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。</p>	<p>0.63</p> <p>0.49</p> <p>0.53</p> <p>0.63</p> <p>0.65</p>
【判断した理由・特記事項等】	
<p>24, できている</p> <p>29, 法人者会議など実施されている</p> <p>39, できていると思う</p> <p>40, 監査など定期的に行われているから</p> <p>43, 行われている</p> <p>44, 指導に対する改善のスピードは速い</p> <p>45, 透明性が高いとは思いつらい</p> <p>47, 事務的ルールは全職員に周知していない面がある</p>	

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	自己 評価結果												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="460 285 1570 361">① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</td> <td data-bbox="1570 285 1709 361">0.63</td> </tr> <tr> <td data-bbox="460 361 1570 429">□地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。</td> <td data-bbox="1570 361 1709 429">0.37</td> </tr> <tr> <td data-bbox="460 429 1570 505">□子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。</td> <td data-bbox="1570 429 1709 505">0.78</td> </tr> <tr> <td data-bbox="460 505 1570 578">□施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。</td> <td data-bbox="1570 505 1709 578">0.63</td> </tr> <tr> <td data-bbox="460 578 1570 651">□子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。</td> <td data-bbox="1570 578 1709 651">0.80</td> </tr> <tr> <td data-bbox="460 651 1570 719">(児童養護施設) □学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。</td> <td data-bbox="1570 651 1709 719">0.51</td> </tr> </table>	① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	0.63	□地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	0.37	□子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	0.78	□施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	0.63	□子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	0.80	(児童養護施設) □学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	0.51	
① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	0.63												
□地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	0.37												
□子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	0.78												
□施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	0.63												
□子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	0.80												
(児童養護施設) □学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	0.51												
【判断した理由・特記事項等】													
<p>5, 地域行事への参加、消防団への参加など関係性づくりに努められている 8, 巫女舞や祭りなど参加協力していると思うが学校から離れたところにあるという地理的理由で理解されにくいことがあると思う。学校の友人など遊びに来ることが少ないようだ 11, 地区のイベント等に顔出し、参加するようにしているから 12, 地域の活動にも積極的に参加されている 24, できている 29, 学校の友人が来られることがほぼない。高校生の同級生が来られた際は外でキャッチボールしたりして遊ぶ姿が一日だけあった気がする 31, ピアノや習字のボランティアの先生方に来ていただいたり地域の子も達がたくさん遊びに来てくれたりと交流は幅広くできていると思う。 32, 地域の行事や活動に積極的に参加していると思う 39, 園庭で地域の子もさんが遊ぶ姿は見るが、ハウス内に一般家庭のように入って遊べるかとなると難しい 40, 地域とのかかわり方について文書化しているかわからない。ハウス以外の子もをあまり見たことがない 43, 地域の子もとのかわりも多い 44, コロナが明け十分とは言えないが地域との交流が再開されてきている 45, 地域との交流努力されていると思う 46, 地域の人々との良好なコミュニケーションを心掛けている。また、地域の行事への職員の参加協力も促している 47, 常に地域との交流は意識的に行うこととしている</p>													
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="460 1412 1570 1534">② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</td> <td data-bbox="1570 1412 1709 1534">0.39</td> </tr> <tr> <td data-bbox="460 1534 1570 1602">□ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。</td> <td data-bbox="1570 1534 1709 1602">0.39</td> </tr> <tr> <td data-bbox="460 1602 1570 1670">□地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。</td> <td data-bbox="1570 1602 1709 1670">0.43</td> </tr> <tr> <td data-bbox="460 1670 1570 1738">□ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。</td> <td data-bbox="1570 1670 1709 1738">0.45</td> </tr> <tr> <td data-bbox="460 1738 1570 1814">□ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。</td> <td data-bbox="1570 1738 1709 1814">0.37</td> </tr> </table>	② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	0.39	□ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	0.39	□地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	0.43	□ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	0.45	□ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	0.37			
② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	0.39												
□ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	0.39												
□地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	0.43												
□ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	0.45												
□ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	0.37												
【判断した理由・特記事項等】													
<p>11, 定期的な受け入れを行っている 12, ボランティアの受け入れでは子ども達も楽しそうにしている姿が見られる 24, 主にできている 39, できていると思う 40, ボランティアに対しどのように受け入れしているか詳しくわからない 43, ボランティア関係はわからない 44, ボランティアについては積極的に活用されているように感じる 45, 明確だとは思えない 47, ボランティア受け入れは積極的に行うようにしている。明文化は不足している</p>													

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	0.67
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	0.51
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	0.78
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	0.71
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	0.57
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	0.73

【判断した理由・特記事項等】

- 12, 寄付やボランティア等関係を持って子ども達もすごく楽しんだり喜んでいる
 24, 主にできている
 39, できていると思う
 40, 連携が適切に行われていると思う
 43, 連携は適切にされている
 44, 専門員を中心に活用が行われている
 45, 連携大切にされていると思う
 46, 職員会議などで情報の共有化が図られている
 47, リストの面は不足しているが各担当には協働を行っている

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	0.49
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	0.45
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	0.53
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	0.49

【判断した理由・特記事項等】

- 11, 近隣地域からの一時預かり対応ができているから
 24, できている
 39, できていると思う
 40, よくわからない
 43, 行われていると思う
 44, 所在地域への還元は不十分に感じる
 45, 地域とのニーズに努力されていると思う
 46, 地域住民との交流活動を通じて生活課題などの把握に努めている
 47, ニーズの把握についてはもっと活用できると考えている

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	0.41
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	0.43
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	0.39
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	0.49
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	0.39
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	0.49

【判断した理由・特記事項等】

- 24, 主にできている
40, よくわからないから
42, 専門的な情報の提供は今後の課題であると感じる
43, 活動していると思う
44, 専門技術知識の還元までは至っていないように感じる
45, 活動の努力されていると思う
46, 法人として地域の防災対策の支援を行っている
47, まだまだできることがたくさんあると考えており今後行う予定

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		自己 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	0.71
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	0.69
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	0.57
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	0.57
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	0.76
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	0.71

【判断した理由・特記事項等】

- 7, 子どもと向き合う時間をしっかり作っている
11, 定期的にCAP等の研修を行っているため
24, できている
39, できていると思う
40, 子どもを尊重した養育支援の実施について共通の理解を持つための取り組みを行えているから
43, 養育・支援の共通の理解を持つための取り組みは行っている
44, 尊重は示されているが具体的な対応方法を示すことができていない
45, 共通理解のための努力はされていると思う
46, 子どもの尊重など勉強会を実施している
47, 本業でもあり基本的に最重要課題として行っている

②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	0.61
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	0.69
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	0.59
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	0.78
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	0.57

【判断した理由・特記事項等】

- 2, マニュアルを見たことがない。職員の対応方法が違うので、実施してよいか悩むことがある。
 12, 一人一部屋にするなど生活でも配慮はされていると思う
 24, できている
 39, ハウスによっては年齢に応じたプライバシーの配慮不足のところもあるように思う
 40, プライバシー保護に配慮できていると思うから
 43, プライバシー保護に配慮している
 44, 子供や保護者への周知は不足している
 45, されていると思う
 46, 子どものプライバシーを守れるように個室が整備されている
 47, マニュアル化が少し不足していると考え

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	0.69
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	0.84
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	0.80
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	0.57
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	0.78
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	0.57

【判断した理由・特記事項等】

- 11, パンフレットや広報紙がわかりやすい内容になっている
 24, できている
 39, できていると思う
 40, 説明や見直しがどのように行われているかわからない
 43, 適切に行われている
 44, 入所時の説明の方法はパンフレットのみとなっている
 45, 専門職によりされていると思う
 46, 施設を紹介する資料は写真や絵などを利用し見やすくわかりやすい内容にしている
 47, 児童相談所と分業の部分もあると考えるが必要なものと伝えている

②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	0.53
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	0.47
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	0.61
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	0.61
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	0.51

【判断した理由・特記事項等】

24, できている
 29, 児相から説明されたことが子どもには伝わっていない。(わかるように伝えていない) 児相の担当の先生が「すぐに会いに来るね」といわれ信じて待っているのに連絡もなく、子どもは不安な気持ちで過ごしている。約束は守ってほしい。
 40, 保護者への説明が具体的にどのようなやり取りがされているのかわからない
 43, 説明されていると思う
 44, 説明と同意の場は不足しているように感じる
 45, わかりやすいかどうかはわからない
 46, 子どもの自己決定を尊重している
 47, 子ども保護者への説明に関しては児童相談所が初期に行い分業体制となっている。施設内のことは伝えている

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	0.63
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	0.67
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	0.63
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	0.84
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	0.65

【判断した理由・特記事項等】

11, 担当者がいろいろな取り組み援助について調べてこられて子ども達の利益となるように対応されているから
 12, 退所した後も定期的に訪問されているし会議で共有も図られている
 24, できている
 39, できていると思う
 40, 相談方法等を記載した文書が渡されているかわからないから
 43, されていると思うが知らない
 44, 退所後支援計画はすべてのすべての卒園児に対して立てられなくなっている(途中卒園、措置変更、家庭復帰)
 45, されていると思う
 46, 措置変更や家庭復帰など環境が変わる際は継続性や不利益が生じないように連携配慮している。また、退所後の相談窓口も設置している
 47, アフターケアとして関わっており専門の担当者も設けている

(3) 子どもの満足の向上に努めている。		自己 評価結果
①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	0.51
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	0.59
	<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	0.57
	<input type="checkbox"/> 職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	0.39
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	0.45
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	0.51

【判断した理由・特記事項等】

5, 意見箱の設置や返しの会、改善についての取り組みなどULを中心に対応されている
8, 直接子どもとかわかっていないのでわからない
10, 意見箱を各ホームに設置し、毎月職員会議にて報告され各職員が子供の意見を周知されている
24, 主にできている
29, キッチンハウスからは誕生日にリクエストメニューにしたり工夫しており子どもの満足向上に努めている。
39, 子どもが満足しているかとなるとそうではない気がする
40, 子どもに関する会などに参加しているから
43, 知らない
44, 子供会は行われていない。調査と面接は行われている
45, 面談など実施されていると思う
46, 食事に関し定期的に嗜好調査等行われている
47, 子ども会は設置していないが意見箱の設置や返しの会を行い聴取に努めている

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	0.71
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	0.84
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。	0.69
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	0.67
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	0.80
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	0.71
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	0.57

【判断した理由・特記事項等】

5, 33と同じ理由でA評価
11, 意見箱を設置し、そこで出た意見に対しての返しの会がある
12, 意見箱も設置してある
24, 苦情を把握していない
29, 意見箱を設置してあり子どもの本音を聞いて返答できるようにしてあるから
31, 意見箱返しの会など定期的に行われていて子どもたちが意見を言ったり相談しやすい環境だと思う
39, できていると思う
40, よくわからない
43, 苦情申し出等に関する事は知らない
44, 保護者への説明は行われていない
45, 苦情に関しては自身にまで取り組みが伝わっていない
46, 意見箱を設置し意見を聴く場を設けている。またプライバシーに配慮し公開している
47, 第三者委員への報告も含め意見箱の設置返しの会の開催等により行っている

②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	0.63
	<input type="checkbox"/> 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	0.57
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	0.57
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	0.67

【判断した理由・特記事項等】

7, 話をしやすいよう意見箱がある
 20, 意見箱の設置（各ホーム）
 24, できている
 39, 子どもの状況に合わせて場所時間面談する職員など配慮がなされていると思う
 40, 意見箱を設置し意見を述べやすくしている
 43, 子どもにも周知されていると思う
 44, 意見箱は設置されている
 45, ホーム・園長・専門とされていると思う
 46, 相談や意見を述べたりする場合は相手を自由に選べることを伝えている
 47, 意見を述べやすい環境は常に意識し取り組んでいると考えている

③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	0.63
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	0.76
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	0.94
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	0.57
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	0.69
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	0.63
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	0.45

【判断した理由・特記事項等】

11, 子どもの意見に対して専門職も含めて対応している
 12, 返しの会も月一で行われている
 24, できている
 39, 意見箱にかけない子供の意見を現場で聞くことがある。「書いても無駄」とか思わないでほしいが今月の担当は〇〇先生とか子ども達にお知らせすると書きやすかったりないだろうか。
 40, 対応策や対応マニュアルがあるかを知らない
 43, マニュアルの見直しはわからない
 44, マニュアルはないため対応する職員差は大きい。そのことも意見箱に反映されやすい
 45, 細かく迅速にしていだだいでいると思う
 46, 意見箱を設置し子供の意見を把握する取り組みを行っている。また、検討や改善等迅速な対応を行っている
 47, 対応は迅速に行うようにしているがマニュアル化が少し不足していると考え

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		自己 評価結果
①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	0.41
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	0.37
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	0.61
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	0.61
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	0.35
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	0.53
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	0.37
【判断した理由・特記事項等】		
<p>4, ヒヤリハット等報告は上がっているが、改善策や再発防止については、個人もしくはグループで決められている。</p> <p>11, アイリスにヒヤリハット等記入し職員で共有できるようにしてある</p> <p>24, できている</p> <p>39, ヒヤリハット報告が続く場合の改善策がなされているのか不明確(報告までは上がっているが)</p> <p>40, 組織的に取り組みが行われているのかわからない</p> <p>43, されていると思うがわからない</p> <p>44, 報告はあるが、評価見直しが行いづらい状況がある</p> <p>45, されていると思う</p> <p>46, 事故防止の周知や研修を行っている</p> <p>47, ヒヤリハットの収集は行っているが分析については不足していると考え</p>		
②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	0.86
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	0.86
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	0.80
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	0.82
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	0.86
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	0.88
【判断した理由・特記事項等】		
<p>5, 委員会を中心に職員も安心して対応ができるように工夫がなされている</p> <p>7, 話し合いを何回も繰り返していた</p> <p>11, コロナが発生した際各部署の職員で対応できていたため</p> <p>12, コロナの時なども定期的にコロナ委員で集まり会議されていた</p> <p>24, できている</p> <p>31, コロナ等の感染症対策のためのマニュアルはしっかり配られており、きちんと管理体制ができていたので対応がわかりやすかった。</p> <p>39, 世の情勢に合わせて更新されている。看護師さんもいるので心強い</p> <p>40, 感染症予防や安全確保の勉強会が行われているのかわからない</p> <p>43, 感染予防や発生時の対応の体制が整っている</p> <p>44, コロナ含め組織の対応が行われている</p> <p>45, 計画実施されていると思う</p> <p>46, 担当者を中心に感染症の勉強会が開かれている。また、時期によって感染症予防の周知が行われている</p> <p>47, コロナ対応等マニュアル化は進んでいると考える。対応も迅速に行っている</p>		

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	0.71
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	0.71
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	0.61
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	0.59
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	0.88

【判断した理由・特記事項等】

5, 防災担当を中心に取り組まれている
8, 災害時の体制は決められているが実際に行ったことがないので不安
12, 備蓄リストを作成し管理してある
24, できている
39, 備蓄品のチェックも行われているし、期限のあるものは食事が出てきたり無駄なくできていると思う
40, すべての災害時の対応体制が決められているかわからない（火災訓練は行っているが地震などについてはよくわからない）
43, 組織的に行われている
44, 整備途中であるが努力を続けている
45, 各方面取り組みされていると思う
46, 災害時の対応体制が決められており訓練も定期的に行っている。また、備蓄リストを作成管理している
47, 定期的な訓練を行い進めている。近年特に意識して行うように指導している

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	0.49
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	0.47
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	0.57
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	0.51
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	0.43

【判断した理由・特記事項等】

5, マニュアル化はなされていない
24, できている
39, できていると思う
40, 養育・支援の標準的な方法が実施されているから
43, 実施されている
44, まず、明確な標準化がされておらず抽象的なものが多いため支援に一貫性がなく職員差ホーム差が大きい
45, 自分自身が周知していない
47, 明示、文書化については不足の面があると考えている

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	0.59
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	0.55
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	0.51
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	0.67
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	0.47

【判断した理由・特記事項等】

5, 40と同じ理由でC評価
11, 自立支援計画に反映されているから
24, できている
39, 自立支援計画をもとに毎月視点を決めてできていると思う
41, 見直しされていると思う
43, 定期的に見直しなどが行われている
44, 計画の見直しは行われている。子どもの意見は反映されにくい。
45, 努力されていると思う
47, 毎月の会議（旧CC会議）等を通じ行っている

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	0.63
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	0.76
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	0.51
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	0.69
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	0.67
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	0.57
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	0.61

【判断した理由・特記事項等】

4, 子どもの意向よりも職員の意向が多い
 5, 依然としてアセスメントについては明確なものがないことが当園の弱いところだと感じている
 11, 様々な職種の職員も含めて協議できているから
 24, できている
 37, 子どもの意向把握と同意を含む形の策定の形に早く移行してほしい
 40, 自立支援計画を適切に策定していると思う
 42, 計画策定の手順が明示され多職種での検討が行われている
 43, 様々な種別の職員の方が参加し協議を実施している
 44, 子どもの意向と同意は不十分。また、計画内容についても職員差ホーム差が大きい。
 45, ホーム専門職、常時されていると思う
 46, 自立支援計画を策定する際様々な職員による会議が行われている。また、支援困難ケースについては辞令検討会を実施するなどの対応も行っている
 47, 自立支援計画については毎年時間をかけて策定している。全部署からの意見も取り入れている

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	0.63
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	0.73
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	0.61
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	0.67
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	0.49
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	0.59

【判断した理由・特記事項等】

7, 話し合いを何度もしている
 24, できている
 39, できていると思う
 40, 毎月見直しが行われている
 43, 定期的に見直しや評価を行っている
 44, 子どもの意向/同意については不十分
 45, 細かく話し合い、努力されていると思う
 46, 自立支援計画を確認する仕組みが構築されている
 47, 毎月の会議を行い見直しも含め行っている

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	0.69
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	0.78
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	0.78
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	0.57
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	0.59
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	0.80
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	0.88

【判断した理由・特記事項等】

5, 記録の書き方に関しては共通認識を再度持つ必要がある
 24, できている
 39, 記録は職員差があると思う
 40, 養育・支援の記録が適切に行われている
 43, 養育や支援の記録は適切にされている
 44, 統一様式に向けて努力を続けてる
 46, 記録については内容や書き方に歳が出ないように周知されている。またパソコンにて情報を共有する仕組みが整備されている
 47, ネットワークシステム（アイリス）を活用し日常的に行っている

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	0.63
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	0.65
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	0.65
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	0.65
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	0.59
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	0.76
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	0.55

【判断した理由・特記事項等】

24, できている
 40, 子どもに関する記録の管理体制が確立しているから
 43, 管理は厳重にされている
 44, アイリス導入後に記録に対する考え方が変化し話し言葉が入ったりと意識が低くなっていると感じる。保管についても同じ
 45, 職員努力されていると思う
 47, 規定や保護者への説明は不足していると考え

内容評価基準（24項目） A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	自己 評価結果
<p>① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。</p>	<p>0.55</p> <p>0.57</p> <p>0.51</p> <p>0.57</p> <p>0.43</p> <p>0.76</p>
【判断した理由・特記事項等】	
<p>4, マニュアルがない。子どもの権利や意思表示の場等整備不十分。職員の価値観で判断されることが多い。</p> <p>11, 権利擁護に関する研修会など行っているから</p> <p>12, 研修等あっている</p> <p>24, できている</p> <p>39, できていると思う</p> <p>40, どのように取り組んでいるのかよくわからないから</p> <p>43, 子どもの権利擁護については詳しく周知されている</p> <p>44, 研修は続けているが現場への具体的な式や指示は不十分に感じる</p> <p>45, されているが自身で周知していない</p> <p>47, 子どもの権利については最大限取り組んでいるがマニュアルについては不足している</p>	
(2) 権利について理解を促す取組	
<p>① A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>権利についての理解を深めるよう、年齢に配慮した説明を工夫し、日常生活を通して支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの年齢や状態に応じて、権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料等を使用して、生活の中で保障されるさまざまな権利についてわかりやすく説明している。</p> <p><input type="checkbox"/>職員間で子どもの権利に関する学習機会を持っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、自分を傷つけたりおとしめたりしてはならないこと、また、他人を傷つけたり脅かしたりしてはならないことが、日々の養育の中で伝わっている。</p> <p><input type="checkbox"/>年下の子どもや障がいのある子どもなど、弱い立場にある子どもに対して、思いやりの心をもって接するように支援している。</p>	<p>0.71</p> <p>0.65</p> <p>0.57</p> <p>0.61</p> <p>0.67</p> <p>0.73</p>
【判断した理由・特記事項等】	
<p>4, 外部講師他児相等の外部機関と連携し、子どもたちに伝えている。</p> <p>11, 職員研修を行っているため</p> <p>12, 子どもに対しての職員のかかわり方など勉強する機会がある</p> <p>24, できている</p> <p>40, 取り組んでいるが子どもに伝わっていないことも多く今後も検討する必要があるから</p> <p>43, 正しい理解を促す取り組みがされている</p> <p>44, CAPとの連携による取り組みを続けている</p> <p>45, 個人の特性に応じられている</p> <p>46, 子どもの権利に関する研修や周知が行われている</p> <p>47, 日常の支援場面やCAP研修を利用し理解を促す取り組みを行っている</p>	

(3) 生い立ちを振り返る取組

①	A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。	0.63
	<input type="checkbox"/> 子どもの発達状況等に応じて、適切に事実を伝えようと努めている。	0.78
	<input type="checkbox"/> 事実を伝える場合には、個別の事情に応じて慎重に対応している。	0.84
	<input type="checkbox"/> 伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。	0.78
	<input type="checkbox"/> 事実を伝えた後、子どもの変容などを十分把握するとともに、適切なフォローを行っている。	0.69
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりに成長の記録(アルバム等)が用意され、空白が生じないように写真等の記録の収集・整理に努めている。	0.57
	<input type="checkbox"/> 成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、子どもの生い立ちの整理に繋がっている。	0.55

【判断した理由・特記事項等】

12, 乳児院へ行ったりの取組みも行われている
 24, できている
 39, アルバムは卒園児にまとめて準備している。生い立ちの整理もみんなできているわけではない
 40, 生い立ちを振り返る取組みはできていないと思うから
 43, 生い立ちの振り返る取組みはされている
 44, アルバムがデジタル化に伴い不十分になりつつあると感じる
 45, 配慮を十分にされていると思う
 46, 日常の中で成長の過程を振り返れるかわりがなされている。また、生い立ちの内容や伝え方は個別の会議で確認共有している。
 47, 個別に対応する中で必要に応じ行っている

(4) 被措置児童等虐待の防止等

①	A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	0.82
	<input type="checkbox"/> 体罰や不適切なかかわり(暴力、人格的辱め、心理的虐待など)があった場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその原因や体罰等の内容・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがとられている。	0.76
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、会議等で具体的な例を示すなどして職員に徹底し、行われていないことを確認している。また、不適切なかかわりを発見した場合は、記録し、必ず施設長に報告することが明文化されている。	0.84
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けており、不適切なかかわりの具体的な例を示して、子どもに周知し、子ども自らが訴えることができるようにしている。	0.78
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたときに、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができており、被措置児童等虐待の届出・通告があった場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている。	0.80
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料を子ども等に配布、説明している。また、掲示物を掲示するなどして、子どもが自ら訴えることができるようにしている。	0.65

【判断した理由・特記事項等】

11, 発覚した際に早期に対応していた 44, 報告、対応の仕組みを明確にしている
 12, 毎日声に出して唱えている
 24, できている
 39, 取り組んでいると思う
 40, 資料を子ども等に配布説明しているかわからない
 43, 防止する動きはされており早期発見につながる整備もされていると思う
 45, 適切にされていると思う
 46, 不適切なかかわりの防止について会議で周知徹底している。また、子どもが自分自身を守る知識を外部と連携し学ぶ機会を設けている
 47, 子どもに配布していたが重要事項について特に慎重に取り組んでいる

①	A5 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	0.84
	<input type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性に関して、施設全体でその重要性を理解し、入所や退所に伴う不安を理解し受け止めるとともに、子どもの不安を軽減できるように配慮している。	0.86
	<input type="checkbox"/> 入所した時、温かく迎えることができるよう、受け入れの準備をしている。	0.90
	<input type="checkbox"/> 子どもがそれまでの生活で築いてきた人間関係などを、可能な限り持続できるように配慮している。	0.76
	<input type="checkbox"/> 家庭復帰や施設変更にあたり、子どもが継続して安定した生活を送ることができるよう、支援を行っている。	0.84

【判断した理由・特記事項等】

- 4, 最近、子どもの受入（一時保護含む）の際ハウス職員の対応は不十分に感じる。出勤しているのに立ち会わない等
 11, 子どもが通学を希望している学区外の小学校に通わせることができているため
 12, 入所してきたときキッチンでもオムライスプレートを用意したりする
 24, できている
 31, 入所時はプレゼントを用意したり子どもが好きなものか色で日用品を購入したりと温かく迎えらるるよう気をつけています。
 39, できていると思う
 40, 専門職がいて支援できていると思う
 43, 不安の軽減ができるように取り組んではいる
 44, 退所後支援計画を立てない子が多くなって生きていると感じる
 45, 何度も話し合い実施されていると思う
 46, 入所の際ウェルカムプレゼントを用意するなど受け入れの準備をしている
 47, アフターケアの充実は施設の業務として専門員を配置するなど行っている

②	A6 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	0.86
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。	0.80
	<input type="checkbox"/> 退所後も施設に相談できる窓口（担当者）があり、支援をしていくことを伝えている。	0.88
	<input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。	0.90
	<input type="checkbox"/> 行政機関や福祉機関、あるいは民間団体等と連携を図りながらアフターケアを行っている。	0.92
	<input type="checkbox"/> 本人からの連絡だけでなく、就労先、アパート等の居住先からの連絡、警察等からのトラブル発生の連絡などにも対応している。	0.88
	<input type="checkbox"/> 退所者が集まれる機会や、退所者と職員・入所している子どもとが交流する機会を設けている。	0.51

【判断した理由・特記事項等】

- 5, 施設に集う機会は設けることができているもののアフターケアにおいて定期訪問を組んだり来園時の対応について関係職員で調整するなどの工夫を行っている
 11, あらゆる機関と連携を取りながら担当職員がアフターケアに取り組んでいるから
 12, 退所後もつながるようにされている
 24, 主にできている
 39, 退所児支援、支援する子どもに差があるように感じる
 40, 連絡を密にしリービングケアや退所後の支援に積極的に取り組んでいると思う
 42, 医療や民間団体などとの連携が積極的に行われていると感じる
 43, アフターケアの取り組みもよくされている
 44, 専門職中心に取り組むを感じる
 45, 細かくされていると思う
 46, 退所後も相談できることを伝えている。また、民間団体と連携しながらアフターケアを行っている
 47, 基本的に最重要な業務としてかかわっている

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	自己 評価結果
<p>① A7 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。</p> <p><input type="checkbox"/>職員はさまざまな知見や経験によって培われた感性に基づいて子どもを理解し、受容的・支持的な態度で寄り添い、子どもと共に課題に向き合っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの生育歴を知り、そのときどきで子どもの心に何が起こっていたのかを理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもが表出する感情や言動のみを取り上げるのではなく、被虐待体験や分離体験などに伴う苦痛・いかり、見捨てられ感も含めて、子どもの心に何が起こっているのかを理解しようとしている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもに行動上の問題等があった場合、単にその行為を取り上げて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもたちに職員への信頼が芽生えていることが、利用者アンケートを通じて感じられる。</p>	<p>0.67</p> <p>0.69</p> <p>0.65</p> <p>0.84</p> <p>0.76</p> <p>0.47</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p>	
<p>4, 子どもの視点に立って、子どものことを考えられていることが少ない 12, 職員内でも共有し理解できるようにしている 39, 子どもに寄り添えるように努力している 40, 地震に知識や技術が足りないと感じるため理解するよう努めているができていないと感じる時がある 43, できるだけ子供に寄り添えるよう理解する努力はしている 44, 利用者アンケートは実施していない 45, 背景を考えるようにしている 46, 子どもに行動上の問題が起こった場合表面のみをとらえるのではなく背景に何があるのか把握するよう努めている 47, 最重要業務として位置付けている</p>	
<p>② A8 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども一人ひとりの基本的欲求を満たすよう努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>基本的欲求の充足において、子どもと職員との関係性を重視している。</p> <p><input type="checkbox"/>生活の決まりは、秩序ある生活の範囲内で子どもの意思を尊重した柔軟なものとなっている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもにとって身近な職員が一定の裁量権を有し、個々の子どもの状況に応じて柔軟に対応できる体制となっている。</p> <p><input type="checkbox"/>基本的な信頼関係を構築するために職員と子どもが個別に触れ合う時間を確保している。</p> <p><input type="checkbox"/>夜目覚めたとき大人の存在が感じられるなど安心感に配慮している。</p>	<p>0.69</p> <p>0.78</p> <p>0.80</p> <p>0.65</p> <p>0.67</p> <p>0.82</p> <p>0.57</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p>	
<p>4, 年齢や学年でとるべき行動を職員それぞれの価値観の元促されているときがある。 11, 夜にスマホを預かるのは決まり事として柔軟な対応とは思わない 12, 子供の意見等も話し合いながらできるだけ通るように工夫されている 24, できている 39, 努力している 40, 基本的欲求を満たせるように対応しているが対応が難しい時もありできないことがある 43, 大人の存在が感じられるような環境の工夫はまだ足りていないと思う 44, 子ども達の話し合いと同意を大切にしている 45, 努力をされていると思う 46, 子どもとの個別の時間をできる限り確保している 47, 生活の決まりがハウスによって偏りがある場合が見られる時がある</p>	

③	A9 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子ども自身が自らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援している。	0.69
	<input type="checkbox"/> 快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくっているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。	0.57
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。	0.53
	<input type="checkbox"/> 子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うように見守ったり、働きかけたりしている。	0.80
	<input type="checkbox"/> 子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。	0.80
	<input type="checkbox"/> つまずきや失敗の体験を大切にし、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。	0.78

【判断した理由・特記事項等】

24, 主にできている
 39, 支援できている
 43, 子ども自身ができることは促し、見守る態勢は取っているが躓いた時には支援する働きかけをしている
 44, 子ども達を褒め励ますことを日常的に行い、間違いについてはただすだけでなく正しいことを伝え練習し次の成功へつなげられるようにしている
 45, 各個人や各ホームでされていると思う
 46, 子どもを見守りながら励まし褒めることを意識しかかっている
 47, 本業として日常的に考え行っていると考えている

④	A10 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	0.63
	<input type="checkbox"/> 施設内での養育が、年齢や発達の状況、課題等に応じたプログラムの下、実施されている。	0.65
	<input type="checkbox"/> 日常生活の中で、子どもたちの学びや遊びに関するニーズを把握し、可能な限りニーズに応えている。	0.69
	<input type="checkbox"/> 幼児から高校生まで、年齢段階に応じた図書などの文化財、玩具・遊具が用意、利用されている。	0.55
	<input type="checkbox"/> 学校や地域にある子どもたちの学びや遊びに関する情報を把握し、必要な情報交換ができている。	0.63
	<input type="checkbox"/> 子どもニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされている。	0.59
	<input type="checkbox"/> 幼稚園等に通わせている。	0.96
	<input type="checkbox"/> 子どもたちの学びや遊びを保障するための、資源(専門機関やボランティア等)が十分に活用されている。	0.78

【判断した理由・特記事項等】

4, 予算が少ないため、小さい子ども達のおもちゃや遊具は最低限にとどまっているように感じる
 11, いろいろなボランティアを活用できている
 12, 幼稚園や習い事にも通っている
 24, 主にできている
 40, 学びや遊びに関するニーズにこたえられないこともある
 43, 年齢に合わせたおもちゃや本、時には地域資源も活用している
 44, ピアノや家庭教師社会体育にも参加している
 45, 寿文ではないかもしれないがいつも考え実施、取り入れられていると思う
 46, ボランティアを受け入れ資源の活用をしている
 47, 基本的には充分保障提供できるようにしている

⑤	A11 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	0.67
	<input type="checkbox"/> 子どもが社会生活をいとなむ上での必要な知識や技術を日常的に伝え、子どもがそれらを習得できるよう支援している。	0.69
	<input type="checkbox"/> 子どもと職員が十分な話し合いのもとに「しなければならないこと」と「してはならないこと」を理解し、生活するうえでの規範等守るべき決まりや約束を一緒に考え作っていくようにしている。	0.69
	<input type="checkbox"/> 地域社会への積極的参加を図る等、社会性を習得する機会を設けている。	0.76
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理できるよう支援している。	0.67
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくように支援している。	0.63

【判断した理由・特記事項等】

- 11, スマホの取り扱いなどは都度説明されている
 39, ネット・SNSはできているとは思いますが対外的に電話の対応等やお客様が自宅に来られた時の対応等は一般家庭に比べて経験値が少ない
 40, 電話対応等子ども達にさせる機会がなく支援できていないと思うから
 43, 社会常識や生活の営みを通して伝えられていることは身につくよう支援している
 44, 子ども達が社会で成功していけるようにその方法を一つ一つ教え練習し褒めることを続けている
 45, 様々な形でされていると思う
 46, 地域の行事参加を図り社会性を獲得する機会を設けている
 47, 日常の取り組みとして業務の中で行っている

(2) 食生活

①	A12 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	0.82
	<input type="checkbox"/> 楽しい雰囲気ですぐに食事ができるように、年齢や個人差に応じて食事時間に配慮している。	0.78
	<input type="checkbox"/> 食事時間が他の子どもと違う場合にも、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	0.82
	<input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気ですぐに清潔が保たれたもとで、職員と子ども、そして子ども同士のコミュニケーションの場として機能するよう工夫している。	0.76
	<input type="checkbox"/> 定期的に残食の状況や子どもの嗜好を把握するための取組がなされ、それが献立に反映されている。	0.78
	<input type="checkbox"/> 基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつをつくる機会を設けている。	0.76

【判断した理由・特記事項等】

- 9, 個人個人の嗜好が違うのですべての要望に応えることができない。また、子ども達の年齢差もあり適温提供できていないかもしれない。しかし各ホームには電子レンジがあるので温め等はできると思う
 11, あまり調理する機会が設けられていないと感じるから
 12, 意見箱などで出た意見をもとに献立などもたてられている
 24, 主にできている
 35, 調理の日で子どもと一緒に調理する機会があるため
 39, 食事の提供に職員差があると思う
 43, おいしく食事が食べられるように工夫したり、調理する機会は設けられている
 44, 配食の体制の中でできることを取り組んでいる
 45, 努力していると思う
 46, 子ども達の嗜好を把握する取組がなされている
 47, 各ハウスに調理場を設け楽しく食事ができるよう環境設定もしている

(3) 衣生活

①	A13 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	0.88
	<input type="checkbox"/> 常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用している。	0.80
	<input type="checkbox"/> 汚れた時にすぐに着替えることができ、またTPOに合わせた服装ができるよう、十分な衣類が確保されている。	0.90
	<input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。	0.76
	<input type="checkbox"/> 洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の管理を子どもの見えるところで行うよう配慮している。	0.76
	<input type="checkbox"/> 衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。	0.88
	<input type="checkbox"/> 発達状況や好みに合わせて子ども自身が衣服を選択し購入できる機会を設けている。	0.88

【判断した理由・特記事項等】

- 4, 時々靴がぼろぼろの子どもを見かける
- 11, 好きな服を子ども達は選んでいる
- 13, 被服費などがある
- 24, できている
- 29, 定期的に手作りおやつを提供していて子ども達も楽しみにしている
- 39, 支援できている
- 40, 声掛けしているが汚れ物を出さない子どもがおり習慣化できないことがあるため
- 43, 季節に合わせた服装の声掛けをしたり、好みの服が選択できるように子どもと買い物に出ている
- 44, 年間3万円の被服費の中で子ども達と話し合っている
- 45, 計画助言購入細かくされていると思う
- 46, 子どもが好みの服装を購入できるように尊重している
- 47, 日常的に購入できるようにしている

(4) 住生活

①	A14 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	0.76
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって居心地の良い安心安全な環境とは何かを考え、積極的に環境整備を行っている。	0.76
	<input type="checkbox"/> 小規模グループでの養育を行う環境づくりに配慮している。	0.78
	<input type="checkbox"/> 中学生以上は個室が望ましいが、相部屋であっても個人の空間を確保している。	0.92
	<input type="checkbox"/> 身につけるもの、日常的に使用するもの、日用品などは、個人所有としている。	0.94
	<input type="checkbox"/> 食堂やリビングなどの共有スペースは常にきれいにし、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。	0.80
	<input type="checkbox"/> 設備や家具什器について、汚れたり壊れたりしていない。破損箇所については必要な修繕を迅速に行っている。	0.73
	<input type="checkbox"/> 発達や子どもの状況に応じて日常的な清掃や大掃除を行い、居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにしている。	0.61

【判断した理由・特記事項等】

- 11, きれいな部屋とそうでない部屋の差がある
- 24, 主にできている
- 39, 中学生以上はプライバシーの村長も必要と思う（掃除も含め）
- 40, 子どもによっては整理整頓が難しく中々習慣化することができない（職員からの指導や整理整頓は行っている）
- 43, 子ども達の居室が整理整頓された状態が保てるように定期的に子どもと居室清掃をしている
- 44, 日常の中で気づきにくい破損については上司が見回りの中で伝えている
- 45, 共有スペース家庭的になるよう努めている
- 46, 一人一人の個室を準備している
- 47, グループでの差は多少あるものの基本的に対応している

(5) 健康と安全

①	A15 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	0.86
	<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握し、定期的に子どもの健康管理に努めている。	0.96
	<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察し、対応している。	0.94
	<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	0.86
	<input type="checkbox"/> 職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	0.71

【判断した理由・特記事項等】

- 12, 定期的に健診などあっている
- 24, できている
- 39, できていると思う
- 40, 学習する機会は特に設けていないため
- 43, 子どもの健康状態の管理や医療機関との連携はされている
- 44, 日誌がなくなり服薬のチェックが保障できていないように感じる
- 45, 特に配慮を心掛けている
- 47, 重要事項として対応を迅速に行っている

(6) 性に関する教育

①	A16 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	0.78
	<input type="checkbox"/> 他者の性を尊重し、年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮している。	0.84
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	0.78
	<input type="checkbox"/> 性についての正しい知識、関心が持てるよう、年齢、発達の状況に応じたカリキュラムを用意し、活用している。	0.78
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性をめぐる諸課題への支援や、学習会などを職員や子どもに対して実施している。	0.86

【判断した理由・特記事項等】

- 11, 研修を定期的に行っている
- 24, できている
- 39, できていると思う
- 40, 性について子どもから聞かれることがなくどのような疑問や不安を持っているかわからないから
- 43, 性教育の講話等、子ども達にも知る機会が定期的にされている
- 44, カリキュラムやプログラムは持っているが活用できていない
- 45, 配慮実施されていると思う
- 46, 研修団体（CAP）での研修を行うなど必要に応じて対応している。性のタブー視も行っていない

(7) 行動上の問題及び問題状況への対応

①	A17 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	0.65
	<input type="checkbox"/> 施設が、行動上の問題があった子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。また、周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	0.59
	<input type="checkbox"/> 施設の日々の生活が持続的に安定したものとなっていることは、子どもの行動上の問題の軽減に寄与している。また子どもの行動上の問題が起きた時も、その都度、問題の要因を十分に分析して、施設全体で立て直そうと努力している。	0.71
	<input type="checkbox"/> 不適切な行動を問題とし、人格を否定しないことに配慮をしている。職員の研修等を行い、行動上の問題に対して適切な援助技術を習得できるようにしている。暴力を受けた職員へ無力感等への配慮も行っている。	0.65
	<input type="checkbox"/> くり返し児童相談所、専門医療機関、警察等と協議を重ね、事態改善の方策を見つけ出そうと努力している。	0.69

【判断した理由・特記事項等】

- 4, 行動ばかりに注目しがちでその背景を理解しようとしていない
 11, 問題行動を繰り返す子どもがいたホームの職員に対して声掛けなどの配慮があったため
 24, できている
 40, 職員の手が足りずに配慮できないことも多い。また、職員の力量の違いで適切に対応できていないとおもうから
 43, 不適切な行動があったとき様々な機関と連携し改善へ努力されている
 44, 困難事例に対する明確な方針が出せない状況がある
 45, されていると思う
 46, その都度問題の要因を検討している
 47, 行動上の問題に配慮はしているが迅速に対応を変化させるのが難しい場合がある

②	A18 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	0.73
	<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。	0.69
	<input type="checkbox"/> 生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。	0.61
	<input type="checkbox"/> 課題のある子ども、入所間もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。	0.69
	<input type="checkbox"/> 大人(職員)相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっていく。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合には、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。	0.67
	<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。	0.73
	<input type="checkbox"/> 子ども間の性的加害・被害を把握し適切に対応している。	0.76

【判断した理由・特記事項等】

- 4, もう少し見守りを強化してもよい
 9, 子ども間の暴力、いじめ、差別など子ども達はすべて悪いことであると知っている。しかし個人個人の抑えきれない衝動など自分でもどうにもできないのでこのことはすべてなくすことはできないと思う。しかし何が原因なのかいけないことなのかは自覚させる必要がある。
 24, できている
 40, 勤務形態について人手が足りなかったり職員の都合もあり手薄になる日も多くある(調整が難しい)と思う
 43, 子ども間で暴力やいじめ等があったときは適切な対応ができるような体制になっていると思う
 44, 具体的な対応や解決策が出しづらく経過を見守ることが多く感じる
 45, 努力されていると思う
 46, 目の届かないことがないように勤務を重ねるなどできる限り配慮している
 47, 入所時期や空き状況により対応できない時もある

(8) 心理的ケア

①	A19 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	0.76
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアを必要とする子どもについては、自立支援計画に基づき心理支援プログラムが策定されている。	0.84
	<input type="checkbox"/> 施設における職員間の連携が強化されるなど、心理的支援が施設全体の中で有効に組み込まれている。	0.73
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要な子どもへの対応に関する職員研修やスーパービジョンが行われている。	0.73
	<input type="checkbox"/> 職員が必要に応じて外部の心理の専門家からスーパービジョンを受ける体制が整っている。	0.71
	<input type="checkbox"/> 心理療法を行うことができる有資格者を配置し、心理療法を実施するスペースを確保している。	0.86
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携し、対象となる子どもの保護者等へ定期的な助言・援助を行っている。	0.76

【判断した理由・特記事項等】

- 11, 定期的に事例検討会を行い外部講師から助言をいただいているので
- 12, 心理との面談がある
- 32, 心理士が配置され適切に対応されている
- 39, 守秘義務はわかる。子どもの問題行動や苦しみと同じように現場の職員も同じである。もう少し近いところで心理的支援が感じられたらと思う。
- 40, 専門職がいることで定期的に支援が行われていると思う
- 43, 心理的支援も十分にされていると思う
- 44, 専門職を中心に辞令検討等機会は多くある
- 45, 自分自身十分周知していない
- 46, 心理療法を実施するスペースを確保し必要な子どもについては実施している
- 47, 外部専門家の研修や心理士2名の配置など積極的に取り組んでいる

(9) 学習・進学支援、進路支援等

①	A20 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	0.80
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるようにその時の本人の希望に沿えるような個別スペースや学習室を用意するなど、学習のための環境づくりの配慮をし、学習習慣が身につくよう援助している。	0.76
	<input type="checkbox"/> 学校教師と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。一人ひとりの必要に応じて、学習ボランティアや家庭教師、地域の学習塾等を活用する機会を提供している。	0.82
	<input type="checkbox"/> 学力が低い子どもについては、基礎学力の回復に努める支援をしている。	0.61
	<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出について把握し、子どもに応じた支援をしている。	0.76
	<input type="checkbox"/> 障害のある子どものために、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校等への通学を支援している。	0.90

【判断した理由・特記事項等】

- 12, 塾に通っている子どももいる
- 24, できている
- 39, できていると思う
- 40, 学習環境の整備はできているが基礎学力回復に対する支援ができていないと思う子どももいるため
- 43, 静かに学習できるような環境も用意されており学校との連携や特別支援学級通学の支援もされている
- 44, 子ども達の特性・発達段階に合わせた支援を行っている
- 45, 受験生にも十分配慮されていると思う
- 46, 必要に応じて塾や家庭教師を利用している
- 47, 学習室を設け外部家庭教師も設定している

②	A21 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	0.71
	<input type="checkbox"/> 進路について自己決定ができるよう進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供し、子どもと十分に話し合っている。	0.84
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、本人、親、学校、児童相談所の意見を十分聞き、自立支援計画に載せ、各機関と連携し支援をしている。	0.80
	<input type="checkbox"/> 就学者自立生活支援事業、社会的養護自立支援事業、身元保証人確保対策事業、奨学金など、進路決定のための経済的な援助の仕組みについての情報提供をしている。	0.88
	<input type="checkbox"/> 進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応する体制ができており、対応している。	0.65
	<input type="checkbox"/> 学校を中退したり、不登校となった子どもへの支援のなかで、就労(支援)しながら施設入所を継続することをもって社会経験を積めるよう支援している。	0.67
	<input type="checkbox"/> 高校卒業後も進学を希望する子どものために、資金面、生活面、精神的面など、進学の実現に向けて支援、情報提供をしている。	0.84
	<input type="checkbox"/> 高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。	0.90

【判断した理由・特記事項等】

- 4, 子どもの進路変更を職員がコントロールしすぎているときもある。
9, 本人の希望に沿った進路に行っても理想と現実の違いに挫折してしまう子どもがいる。心が折れてしまい立ち直ることに時間がかかっている。
11, 進路決定のための援助について様々な資料や情報を自立支援員が提案してくれている
24, できている
39, 今年度自立支援員がプラスされ職員として安心感がある
40, 子どもにとって最善の利益を考え支援しているが子どもの希望することにそえないこともある
43, 進路の自己決定の支援や、進路決定に必要な情報の収集などされている
44, 進学以外の子と在園措置延長については是非前向きに考え続けていきたい
45, 全体で取り組まれていると思う
46, 子どもが判断できるように必要な資料を準備している
47, 再重要項目として業務努力をしている

③	A22 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	0.73
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、社会の仕組みやルールなど、自分の行為に対する責任について話あっている。	0.67
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援に取り組んでいる。	0.65
	<input type="checkbox"/> 実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。	0.67
	<input type="checkbox"/> 職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。	0.69
	<input type="checkbox"/> アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。	0.84

【判断した理由・特記事項等】

- 5, 外部機関と連携し実習や体験などを長期休暇に子ども達に案内している
9, 施設や受け入れ先が迎え入れても本人のメンタルや人間関係がうまくいかず続かない場合がある。
12, アルバイトすることを応援し支援している
24, できている
39, できていると思う
40, 社会経験を通しての学びの場を提供できると思うから
43, 社会の仕組みやルール責任などの話はあまりできていない
44, 専門職中心に積極的に行っている
45, 園からは十分発信されていると思うが子どもには伝わりにくい部分もある
46, 子どもの意向を確認しアルバイトを奨励し社会経験の場を設けている
47, 社会性確保も含め以前より積極的にアルバイトなど奨励している

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

①	A23 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	0.80
	<input type="checkbox"/> 施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう図っている。	0.78
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。	0.78
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅などを取り入れ子どもと家族の継続的な関係づくりに積極的に取り組んでいる。	0.82
	<input type="checkbox"/> 外出、一時帰宅後の子どもの様子を注意深く観察し、不適切なかがわりひ発見に努め、さらに保護者等による「不当に妨げる行為」に対して適切な対応を行っている。	0.82
	<input type="checkbox"/> 子どもに関係する学校、地域、施設等の行事予定や情報を家族に随時知らせ、必要に応じて保護者等にも行事への参加や協力を得ている。	0.80

【判断した理由・特記事項等】

- 11, 家庭復帰に向けて取り組んでいるから
- 24, できている
- 39, 気を遣わず仕事をしたい
- 40, 専門職がいることで適切に対応をしている
- 43, 家族との信頼関係づくり相談など適切にされている
- 44, FSW, ホーム連携の元積極的に行われている
- 45, 意欲的に取り組まれていると思う
- 47, ケース上の制限等一部を除き基本的に関係づくりを積極的に行っている

(11) 親子関係の再構築支援

①	A24 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	0.63
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員を中心に、ケースの見立て、現実的な取組を可能とする改善ポイントの絞り込みを行うなど、再構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている。	0.67
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅、あるいは家庭訪問、施設における親子生活訓練室の活用や家族療法事業の実施などを通して、家族との関係の継続、修復、養育力の向上などに取り組んでいる。	0.65
	<input type="checkbox"/> 児童相談所等の関係機関と密接に協議し連携を図って家族支援の取組を行っている。	0.65

【判断した理由・特記事項等】

- 4, 家庭復帰までのプログラムが不透明。ケース展開が不安な時がある。
- 9, 卒園または中途家庭復帰の親子関係がうまくいかない場合双方の考え方の違いがあって介入することにも限界がある。
- 24, できている
- 40, 児童相談所と連携を図っているが対応が遅れる時もありスムーズにいかないと感じることがある
- 43, 関係再構築等のための支援は積極的にされている
- 44, 目的をもった交流、過去との向き合い、親の養育能力向上に向けた支援など、児相が機能しない場合が多いため FSWの担う役割は多くなっていると感じる
- 45, それを目標として努力されていると思う
- 46, 家庭支援専門相談員を中心に関係機関と連携を図り取り組んでいる
- 47, 基本中の基本とし業務を行っている